

セット図の記号・略号早見表 図形8種・略号24個・向きの4語

記号に法律のような決まりはありません。

この表のどれかで描けばPAは読めます。

1枚の中で統一するのが唯一のルール

① 図形の記号（この8つで足りる）

記号	意味	書き添えること	他でよく見る書き方
Gt	演者の立ち位置	パート名。兼任は「Gt&Vo」のように&でつなぐ	丸+パート名/人型のマーク
Dr	ドラムセット（丸1つで全体）	持込パーツ（スネア・ペダル・シンバル）だけ余白に	太鼓を1個ずつ描いた図/「Drums」
Gt.Amp 会場	アンプ（ギター・ベース）	機種名+持込/会場。ヘッドとキャビは分けて書く	「G.A」「B.A」/斜線入り=会場の機材
Vo	マイク（スタンド1本とセット）	用途（Vo/Cho）。持込なら型番、座奏なら「椅子あり」	丸に矢印（矢印の先が口や楽器）/「M」
	返し（モニタースピーカー）	誰の足元か。要望は備考に「Voに歌多め」	四角に「M」「MON」/三角を客席と逆向きに
DI	DI（ダイレクトボックス）	本数。ステレオは×2。48Vは回線表に書く	「D.I.」「DI BOX」/楽器と線でつなぐ図
Key	キーボード・同期（PC）	St/Mono・DI本数・要電源・スタンドの有無	「Kb」「Syn」「PC」「オケ」
電源×2	注記（持込・電源・ワイヤレス）	置き場所の近くに短く。長い要望は別紙へ	吹き出し/色分け（赤=持込）

② 略号（パート/機材・注記）

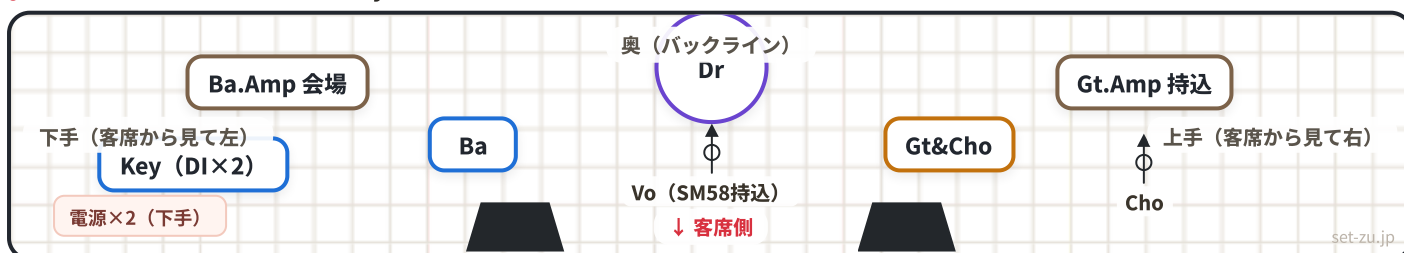
パート	意味	書き方・使いどころ	機材・注記	意味	書き方・使いどころ
Vo	ボーカル	マイクの記号と一緒に。兼任はGt&Vo	Amp	アンプ	Gt.Amp/Ba.Amp。機種名+持込/会場
Cho	コーラス	誰が歌うかを明記。マイクを1本追加	Head/Cab	ヘッド/キャビネット	「ヘッドのみ持込・キャビは会場」のように分ける
Gt	エレキギター	E.Gtとも。アンプの機種とセットで	DI	ダイレクトボックス	ライン楽器に1本。ステレオは×2
A.Gt	アコースティックギター	PUあり=DI/なし=マイク録りと書く	Mon/返し	モニタースピーカー	Wedgeとも。足元の台形で位置を示す
Ba	ベース	ラインが基本。ヘッドの持込は分けて書く	IEM	イヤモニ（インイヤー）	使うなら必ず。有線/ワイヤレスも書く
Dr	ドラム	丸1つ。持込パーツだけ余白に	WL	ワイヤレス	送信機・受信機。受信機の置き場と電源
Key	キーボード	Syn=シンセ/Pf=ピアノ。St/MonoとDI本数	48V	ファンタム電源	コンデンサーマイク・一部のDI。回線表に書く
Perc	パーカッション	カホン・コンガ。マイクかDIかを書く	St/Mono	ステレオ/モノラル	Key・同期・DJはStならDI×2
Sax/Tp/Tb	管楽器	Hr=ホーンセクション。立ち位置とマイク本数	持込/会場	自分の機材/会場の機材	会場=レンタル・常設。必ずどちらか書く
Vn/Vc	バイオリン/チェロ	PUの有無（DIかマイク録りか）	電源	コンセントの口数	「電源×2下手」のように数と場所
DJ/MPC	トラック・サンプラー	DI×2（ステレオ）+要電源	椅子/譜面台	座奏・譜面	座って演奏するなら必ず。マイクは「ブーム希望」
同期	PC・IF（オケ/クリック）	DI×2。クリックを誰のイヤモニに返すか	L/R	客席から見て左/右	上手下手と混ぜない。KeyのStはL/Rで

③ 向きの4語と英語表記

上手（かみて） 客席から見て右 英語：Stage Left（SL）	下手（しもて） 客席から見て左 英語：Stage Right（SR）	奥（バックライン） ドラム・アンプが並ぶ側 英語：Upstage（US）	手前（客席側） ボーカルが立つ側 英語：Downstage（DS）
---	--	--	---

海外のステージプロットは**演者目線**で左右を呼ぶので、英語で書くときは上手=Stage **Left** と逆になります。日本のライブハウスに出す図は客席目線で統一してください。

④ 全部置いた見本（4人編成+Key）



迷ったら：記号は少なく、文字は短く。「どこに・誰が・何を」が読めれば合格です。48Vやチャンネル順は回線表（set-zu.jp/guide/input-list/）に書き、セット図には載せません。

セット図 提出前チェックリスト

20項目＋備考の定型文8つ

送る前の3分で全部✓。
空欄が残るなら「未定」と書いて送るのが
いちばん嫌われない出し方です

バンド名（出演名義）	出演日・会場・イベント名	提出先・締切（1週間前が目安）	提出形式（PDF／リンク／画像）
------------	--------------	-----------------	------------------

① 送る前に全部✓（4分野×5項目）

図の基本

- ☐ 客席目線で描いた（下手＝左・上手＝右）
演者目線だと左右が逆になる
- ☐ 奥・手前・上手・下手のラベルがある
- ☐ 全メンバーの立ち位置とパートが分かる
兼任はGt&Voのように
- ☐ バンド名・出演日・連絡先を入れた
読みづらい名前はフリガナ
- ☐ 図はシンプル、細かい要望は備考欄へ

機材

- ☐ アンプは機種名＋持込／会場
例：Gt.Amp 会場 JC-120
- ☐ ヘッドとキャビを分けて書いた（持込があるとき）
- ☐ DIの本数（Key・同期・DJはStなら×2）
- ☐ 電源の口数と位置
例：電源×2 下手
- ☐ ドラムの持込パーツ／位置変更は方向と距離
例：50cm手前へ・終演後に戻す

マイク・返し

- ☐ マイクの本数＝記号の数（Vo・Cho）
- ☐ 持込マイクは型番まで
例：SM58／e935／β58A
- ☐ スタンドの種類（ストレート／ブーム／座奏は椅子あり）
- ☐ 返しの位置と「誰の何を多めに」
例：Voの返しに歌とGt多め
- ☐ ワイヤレス・イヤモニ・同期の有無

提出

- ☐ 白黒で印刷しても読める（色は2色まで）
黒＝会場／赤＝持込 など
- ☐ 回線表・セットリストは別紙にした
1枚に混ぜない
- ☐ PDFかリンクで送れる状態
手書き写真は真上から・明るい場所で
- ☐ 本番1週間前までに送った
対バン・大きい箱ほど早めに
- ☐ 変更が出たら最新版を再送した
リハ直前の変更は転換時間を削る

② 備考欄の定型文（そのまま書き写せる）

場面	備考欄にそのまま書ける文
ギターアンプを借りる	Gt.Amp 会場（JC-120）
ベースのヘッドだけ持込	Ba.Amp ヘッド持込／キャビは会場
キーボードがステレオ	Key DI×2（St）・要電源1口・スタンド持込
マイクを持ち込む	Vo SM58 持込（ダイナミック・48V不要）
返しの要望	返し：Vo＝歌とGt多め／Dr＝Baとクリック
ドラムを動かしたい	ドラムを50cm手前へ（終演後に戻します）
同期を使う	同期 PC＋IF DI×2・クリックはDrのみイヤモニ
ワイヤレスを使う	Gt ワイヤレス持込（B帯）・受信機は上手アンプ上・要電源

③ 書かなくていいもの・ファイル名

書かなくていいもの（書くと図が読みにくくなる）

- ・シールド・ACアダプター・エフェクター・楽器本体
- ・ギターアンプに立てる集音マイク（PAが立てる）
- ・セットリスト・音響への長い要望文（別紙へ）
- ・丁寧すぎる文章（備考は箇条書きで）

ファイル名の型（受け取る側が探しやすい）

20261018_会場名_バンド名_セット図.pdf
日付_会場_バンド名の順。「セット図.pdf」だけだと対バン全組が同名になり、受け取る側で迷子になります。

全部✓になったら送ってOK。迷った項目は空欄にせず「未定」と書く方が、書かないより喜ばれます。記号を置くだけでこの表の項目が最初から埋まる無料ツール → set-zu.jp/app/（登録不要・スマホ1分）